

## ひとり親世帯2割 食料買えず 22年、国立研調査

国立社会保障・人口問題研究所が22日公表した2022年の調査によると、ひとり親世帯の20.8%が、過去1年間に必要な食料を買えない経験をしていた。ひとり親以外を含めた全世帯の倍に上り、暮らしの苦境が浮き彫りとなった。

調査は5年に1度実施の「生活と支え合いに関する調査」。1万6719世帯に調査票を送って22年7月の状況を尋ね、8473世帯から有効回答を得た。

「過去1年間に、お金が足りなくて家族が必要

とする食料を買えないことがあったか」との問いに、ひとり親世帯の3.0%が「よくあった」、6.9%が「時々」、10.9%が「まれに」と回答。衣料品は「よくあった」「時々」「まれに」を合わせ計18.8%が買えない経験をしていた。

回答した世帯の全体を見ると、食料を買えない経験がある世帯は11.1%。前回（17年）、前々回（12年）の調査に比べて減少した。